

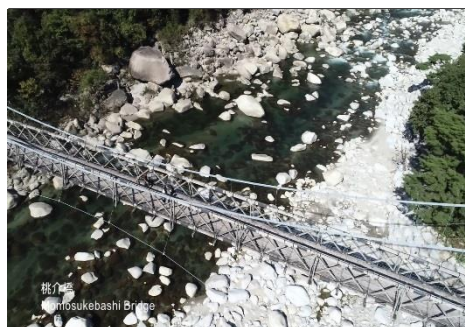
平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南木曾町の「滞在したくなる地域資源」の映像集製作事業
事業主体 (連絡先)	南木曾町 木曾郡南木曾町読書 3668-1
事業区分	(6) ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,203,200円 (うち支援金: 1,762,000円)

事業内容

今まで紙媒体での情報発信になってしまっていたが、町内の観光地・季節の花・地域の祭りを、ドローンをメインにあたかも自分が映像の中にいるかのような映像を地域住民にも参加していただき、地域全体での映像制作を行う。

今後、町の観光情報を広く発信するためには、需要が高まっているSNS(Twitter・Facebook・Youtube等)の活用が不可欠であり、ハッシュタグを活用し、地域住民と一緒にSNSなどでの情報発信を行っていく。



【 映像の一部 】

【目標・ねらい】

- ① SNSを活用しての情報拡散
- ② 地域住民との連携
- ③ 電子媒体での情報発信
- ④ 新たな観光資源の発掘

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

映像撮影を町内全域で行い、各観光地や花、祭りなどをドローンをメインに臨場感がある映像を製作することができた。地域の祭りでは、地域の住民約300人以上や観光客などの皆さんと一体になって取り組むことができた。SNSを活用しての拡散・周知も、地元事業所や地域住民、観光客などでハッシュタグ(南木曾町へようこそ)を活用して行うことができた。観光PR映像を公開した平成31年2月22日以降の妻籠宿の入込も、前年比143%で増加した。地域住民と連携して映像制作、拡散を行い、地域振興に繋がった。

※自己評価 【 B 】

【理由】

地域住民が参加して映像を製作することができ、SNSを活用しての情報発信を行うことができた。今後もSNSをうまく活用していきたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

製作した映像を、SNSや電子媒体などでさらに拡散を行っていき、南木曾町へ観光などでお越しいただけるように取り組んでいく。南木曾駅待合所ディスプレイや町内外イベントの際に、動画の放映を行い、住民や観光客などの方へも再認識してもらう。さらに、移住希望者などへの地域の花や祭り、観光地などの説明などへも活用が期待できる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある